

# あいぼーと通信

令和二年  
(2020)  
6月発行  
第53号



- 新型コロナウイルス感染症に関する人権への配慮について
- 徳島県からのお知らせ－思いやりの心で冷静な行動を－
- 特集：新型コロナウイルスの影響でシングルマザーと子どもたちは今…。
- 特別展示 ●あいぼーと徳島情報など

あいぼーと徳島では、さまざまなイベントを開催しています！



県民の皆さまへお願い

## 新型コロナウイルス感染症に関する人権への配慮について

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、感染された方々やその家族、医療従事者、外国人等に対する偏見や差別、インターネットへの書き込み等による誹謗中傷など、人権侵害にあたる事象が発生しております。

新型コロナウイルス感染症に関する正しい情報をお願いしたいと思います。

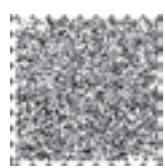
思いやりの心で冷静な行動を－



医療従事者の皆様は感染拡大防止に向けて  
日夜必死で頑張ってくださっています

思いやりでコロナに打ち勝つ

検索



スマホ  
からは  
こちら



（音声コード）

第2回以降も随時配信していますので、是非ご覧ください。

徳島ゆかりの方々からメッセージ動画を作成いただき、徳島県の YouTube などの「情報発信ツール」で、「思いやりでコロナに打ち勝つメッセージ動画」を配信しています。

第1回配信は、徳島ヴォルティスの「岩尾憲澤香輝選手（MF）」「小西雄大選手（MF）」「松澤香輝選手（GK）」の3人からのメッセージです。医療従事者の皆さんへの感謝の言葉や感染された方々に対する冷静な行動を呼びかけています。

徳島からのお知らせ－思いやりの心で冷静な行動を－

あいぼーと徳島

－思いやりの心で冷静な行動を－

## 2019年度人権に関する児童生徒の作品受賞標語ポスター巡回展

昨年12月に発表しました「2019年度人権に関する児童生徒の作品」の受賞作品の中から、標語ポスター（県内各学校から応募のあった36,913作品より受賞した作品）を身近な場所で鑑賞していただけるように県内各所で展示会を開催しました。

会場は8箇所で行い、それぞれの地域の学校に通う子どもたちの作品を展示しました。会場に訪れた多くの方に、地域の子どもたちの作品をご覧いただきました。

### 展示会場

- |                  |                     |
|------------------|---------------------|
| ●フジグラン北島（板野郡）    | 令和2年5月13日～5月19日     |
| ●ルピア（小松島市）       | 令和2年5月13日～5月21日     |
| ●マルナカ脇町店（美馬市）    | 令和2年5月15日～5月20日     |
| ●フレスボ阿波池田（三好市）   | 令和2年5月15日～5月20日     |
| ●パワーシティ鴨島店（吉野川市） | 令和2年5月22日～5月28日     |
| ●アピカ（阿南市）        | 令和2年5月23日～5月26日     |
| ●ホテル千秋閣（徳島市）     | 令和2年6月2日～6月30日      |
| ●ふれあい健康館（徳島市）    | 令和2年7月22日～7月28日（予定） |



マルナカ脇町店



ルピア

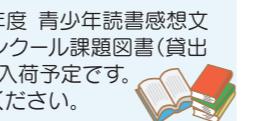


フジグラン北島

『人権に関する児童生徒の作品』は、県内の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の児童生徒を対象に「ひとりいのちふれあい」をテーマに、意見発表に係る作文・作詩作曲・標語ポスターの3部門について人権作品を毎年募集しています。

### 児童生徒向け図書情報

令和2年度 青少年読書感想文全国コンクール課題図書（貸出し用）を入荷予定です。  
ご活用ください。



### 人権相談のご案内

あいぼーと徳島では、人権擁護委員・弁護士による人権相談を行っています。まずは電話にてご連絡ください。  
**Tel.088-664-3701**  
(徳島県男女参画・人権課分室)

一人で  
悩まず  
お電話を

- |   |                |
|---|----------------|
| ●人権擁護委員による相談<br>第2・第4土曜日(10:00～16:00)   | 面接相談及び<br>電話相談 |
| ●弁護士による相談(要予約)<br>第1・第3金曜日(13:00～16:00) | 直接相談           |



[編集・発行]  
**あいぼーと徳島**  
徳島県立人権教育啓発推進センター  
指定管理者 特定非営利活動法人 徳島ヒューマンネット  
〒770-0873 徳島市東沖洲2丁目14 沖洲マリンターミナルビル内  
Tel.088-664-3719 Fax.088-664-3727  
E-mail:info@aiport.jp

あいぼーと徳島 検索 <https://www.aiport.jp>

- 開館時間／午前10時から午後6時まで
- 休館日／月曜日（祝日の場合はその翌日）
- 年末年始（12月29日から1月3日まで）

■公共交通機関のご案内 JR徳島駅から徳島市営バス【中央卸売市場】行きに乗車し、【沖洲マリンターミナル】にて下車



駐車場案内図



（音声コード）

# 特集

## 新型コロナウイルスの影響で シングルマザーと子どもたちは今…。

茂木 美知子さん

WACCA担当理事

●令和2(2020)年6月寄稿文

※5月28日に講演会を予定していましたが、中止になりましたのでご寄稿をいただきました。

新型コロナの影響で、日本国中、いや世界中で、今までの生活が一変する事態が発生している。集団での行動の自粛から始まり、学校の一斉休校、外出禁止、緊急事態宣言発令など、次々と人の動きはなくなり、ステイホームが、呼びかけられた。テレビの報道は朝から晩まで新型コロナ一色、人の往来も途絶えた町が映し出されていた。



寄稿者

シングルマザーたちも追い詰められていった。ウイルスが怖くて家を出るのが怖いという人もいた。給食がないので、1日の食費が馬鹿にならない。仕事も探しに行けないので将来が不安という声もきかれた。

ある日、「マスクを寄付します」という方から連絡が入った。店舗からはマスクが消えていた頃である。すぐにありがたい申し出を受けることにして、連絡をしたらすぐにマスクを送ってくださいました。せつかくのご好意でしたが馬鹿にならない。仕事も探しに行けないので将来が不安という声もきかれた。

供もあり、隨時荷物にいれて送った。中身はささやかでも、心は通じたのか、皆さん喜んでくださり、「ひとりぼっちではないと見えました」とか、「箱の中を開けて子どもも大喜びでした」など、メッセージをたくさんいただいた。

緊急事態宣言が全国で解除された5月25日、日本では新たなステージに入つたといえるだろう。子どもたちの学校も始まる見通しだし、お店も再開するところが増えってきた。給付金もそのうち届くようになるだろう。しかし今回見えてきたのは、こうした事態は、より弱い立場の人により大きな影響を及ぼし、さらに格差が広がることだ。

その中で、細々と続けていたWACCAの活動も平常に戻りつつある。今だからこそ安心して来れる居場所が必要だし、誰かに話したいこともあるだろう。WACCAができるのは目の前のささやかなことだけれど、社会的な支援体制と一緒にそれらの直接支援を両輪で行なうことが、希望を失わずにいることに役立っていると実感している。

私どもの活動する“女性と子ども支援センター・ウィメンズネット・こうべ”は、女性の人権擁護と男女平等社会を目指して発足し、1995年の阪神淡路大震災を契機に、DV被害女性と子どもの支援に取り組むようになり、現在に至っている。2013年10月には、DV離脱後の支援の必要性を感じ、WACCA(わつか)を設立して、女性や子どもの支援に取り組んできた。主な活動としては、シングルマザーと子どもの居場所づくりや子どもたちの無料の学習支援である「WACCA(わつか)塾」の運営、また、シングルマザーの就労支援や資格を取るための学習支援などを行つてきた。

そこで見えてきたのは、暴力から逃れても、貧困や孤立などの課題をかかえながら、それでも何とか必死で生き抜いてきた子どもやシングルマザーの姿だった。少しでも孤立をなくし、希望が持てる生き方を行つた。WACCAはどうするか迫られた。シングルマザーたちからさまざまな声が寄せられた。「マスクやトイレスペーサーがない」「学校が休みになつて、子どもがいるので私も休まさるを得ない」「働いていたパート先のお店が閉じてしまつたので、パートアルバイトの人は皆、シフトに入れなくなつた」など、まさにリアルタイムの声だった。

シングルマザーたちは、家にいて1日中子どもと顔を突き合わせる。普段は忙しいので、せめてこんな時はゆつは解雇された人もいた。

### 寄稿者プロフィール

#### 茂木 美知子(もてき みちこ)さん

- 認定NPO法人 女性と子ども支援センター・ウィメンズネット・こうべ理事
- シングルマザーや子どもの居場所WACCA(わつか)事業コーディネーター

宮城県出身。兵庫県女性問題相談員、人権教育推進員、三木市議会議員などを経て、2011年よりウィメンズネット・こうべのスタッフとしてDV被害者相談、シングルマザーや子どもたちの支援などにあたり現在に至る。

WACCA(わつか…women and children care center)は、1990年代から神戸市で女性シェルターを運営してきたNPO法人女性と子ども支援センター・ウィメンズネット・こうべが、2013年秋、女性や子どもたちの生活再建に資するために、いつでも気軽に立ち寄れる居場所としてオープンなスペースWACCAを長田区の商業施設の一角に開設した。

事業内容は「女性たちの学びと就労準備の場」「シングルマザーと子どもの仲間づくりの場」「女性たちの居場所と仲間づくりの場(相談と自助グループほか)」「子どもの学習支援と居場所づくり」。

### 第1回特別展示を行いました

#### 子どもの貧困を考える —社会のひずみは子どもに向かう—

##### ご案内 第2回特別展示

##### 「サダコと折り鶴」パネル展示とビデオ上映を行います。

#### 戦後75年、平和への祈り 伝え続けたい原爆被害のこと

●展示期間

令和2(2020)年 7月22日[水]~8月16日[日]

午前10時~午後5時まで。最終日は正午まで。月曜日(祝日の場合は翌日)は休館日です。  
期間中、どなたでもご覧頂けます。

展示  
内容

パネル:「サダコと折り鶴」(広島平和記念資料館所蔵)  
ビデオ上映:「つるにのってーとも子の冒険ー」、  
「禎子の思い出 談 佐々木繁夫(佐々木禎子さんの父)」(広島平和記念資料館所蔵)等

●主催・問い合わせ あいぽーと徳島(徳島県立人権教育啓発推進センター) Tel.088-664-3719



(音声コード)

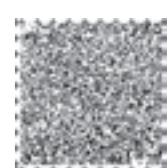


入場  
無料

※申込不要



WACCA塾風景



(音声コード)

応援したいと思いながら活動を続けてきた。そこに、この新型コロナウイルスが突然襲いかかった。WACCA塾に通っている子どもたちが、卒業や終了も、学校はもちろん図書館や公的なコミュニティセンター、生活創造センターなどがすべて閉鎖され、お店も休業のところが多くなった。

WACCAもどうするか迫られた。いたが、まったく閉じてしまうと、シングルマザーやDVの被害女性などが行くところがなくなり、不安が増すだろうと考え、時間を短縮して開設し、まずは電話での安否確認を行つた。シングルマザーたちからさまざまな声が寄せられた。「マスクやトイレスペーサーがない」「学校が休みになつて、子どもがいるので私も休まさるを得ない」「働いていたパート先のお店が閉じてしまつたので、パートアルバイトの人は皆、シフトに入れなくなつた」など、まさにリアルタイムの声だった。シングルマザーたちは、家にいて1日中子どもと顔を突き合わせる。普段は忙しいので、せめてこんな時はゆつは解雇された人もいた。

自宅待機となつた人は、家にいて1日中子どもと顔を突き合わせる。普段は忙しいので、せめてこんな時はゆつは解雇された人もいた。

くりと子どもたちと付き合いたいと思つて、最初のうちは一緒に料理を作つたり、ビデオを見たりしていたが、長引くと「もう限界!」という人もいた。進学塾などではオンラインの授業などが導入されたが、WACCA塾に通う子どもたちの家庭では、パソコンがない家庭も少なくなく、一齊にオンラインというわけにはいかなかつた。